

(様式第9)

秋大医医第182号
平成21年10月1日

厚生労働大臣

殿

秋田大学医学部附属病院長

溝井和

秋田大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	17人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	159人	116人	274.3人	看護業務補助	21人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	7人	10.0人	理学療法士	2人	臨床検査技師	38人
薬剤師	20人	4人	24.0人	作業療法士	1人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	1人	その他	1人
助産師	25人	0人	25.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	463人	24人	483.6人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	2人	5人	5.8人	栄養士	0人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	0人	1人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	123人
管理栄養士	3人	0人	3.0人	診療放射線技師	22人	その他の職員	10人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	499.0人	9.2人	508.2人
1日当たり平均外来患者数	973.7人	53.1人	1026.8人
1日当たり平均調剤数	931.4剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	1人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。)) のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの) に限り、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時に限り。)) の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの) に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん) に係るもの) に限り。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起り、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	50人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	59人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	50人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16人
・全身性エリテマトーデス	175人	・多系統萎縮症	21人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	28人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	71人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	47人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	97人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	60人	・特発性大腿骨頭壊死症	45人
・結節性動脈周囲炎	22人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	126人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	20人	・特発性間質性肺炎	5人
・ピュルガー病	19人	・網膜色素変性症	19人
・天疱瘡	24人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	44人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	61人	・神経線維腫症	18人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	18人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	82人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	29人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	約10回/月		
剖検の状況	剖検症例数	43 例	剖検率 15.7%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膵星細胞をターゲットとした慢性膵炎の新しい治療法の開発	大西 洋英	第一内科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究(分担研究課題名)ジストニアの疫学、治療に関する研究	豊島 至	第一内科	700,000	補委 国立精神・神経センター
内皮機能異常におけるTRPチャネルの役割	渡邊 博之	第二内科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
樹状細胞による造血制御	澤田 賢一	第三内科	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
糸球体濾過バリアー構成分子アクチニン4と相互作用する因子と情報伝達における意義	涌井 秀樹	第三内科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
GLP-1とGIPによる協調的なインスリン分泌促進機構に関する研究	山田 祐一郎	老年科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
若年者メタボ対策調査	山田 祐一郎	老年科	1,100,000	補委 秋田県
糖尿病性腎症の進展に対するSODによる防御機構の解明	藤田 浩樹	老年科	2,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
音響力学によるストレス・プレコンディショニング法の開発	久米 真	第一外科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肝切除術が塩酸ゲムシタピン代謝に与える影響に関する研究	山本 雄造	第一外科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	佐藤 誠二	第一外科	105,000	補委 財団法人先端医療振興財団
磁界印加を引金に薬剤を放出する機能性微粒子を用いた癌治療戦略	南谷 佳弘	第二外科	4,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腫瘍に集積するRIを用いた肺癌の術中リンパ節転移診断	南谷 佳弘	第二外科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
REG遺伝子による癌化学療法・放射線療法の感受性予測とその増感誘導	佐藤 雄亮	第二外科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
急性肺障害における血管内皮細胞内HSP70の抗炎症作用に関する研究	齊藤 元	第二外科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
クモ膜下出血後のリモデリングによる主幹動脈と穿通枝の血管収縮機構の特異的機序解明	高橋 和孝	脳神経外科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腫瘍幹細胞を治療標的とした低酸素誘導因子制御による治療戦略の開発	笹嶋 寿郎	脳神経外科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷における酸化ストレス発生を介したアポトーシス活性化機構の解明	鈴木 明	脳神経外科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
3次元脳血管画像の導入による新規マルチモダル手術支援システムの開発	溝井 和夫	脳神経外科	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脳磁図を用いた頸椎症性脊髄症の客観的治療効果判定法の確立	東山 巨樹	脳神経外科	1,100,000	補委 文部科学省
胆道閉鎖症動物モデル—ヤツメウナギの可能性—	森井 真也子	小児外科	1,800,000	補委 文部科学省
鎮痛鎮静剤と抗てんかん薬の使用は未熟児新生児脳を虚血低酸素障害から護れるか?	石田 和子	小児科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
リジン尿性蛋白不耐症における本邦での疫学調査および発症前診断にむけての研究	野口 篤子	小児科	500,000	補委 文部科学省
One Step RT-PCRによる血中、リンパ節中の悪性腫瘍細胞の検出	佐藤 直樹	産科婦人科	700,000	補委 文部科学省
新規卵巣由来パラクライン因子を用いた卵子体外成熟法の確立とその臨床応用	河村 和弘	産科婦人科	1,300,000	補委 文部科学省
秋田県不妊専門相談センター事業	田中 俊誠	産科婦人科	2,571,996	補委 秋田県
重症心身障害児(者)病因・病態解明、治療・療育、および施設のあり方に関する研究(分担研究課題名)小児期発症脳変性疾患の遺伝子診断	澤石 由記夫	産科婦人科	1,000,000	補委 国立精神・神経センター
2次性の過眠症の原因検討と、摂食障害における視床下部の神経ペプチドを検討すること	神林 崇	神経科精神科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒスタミン値の過眠症での感受性、特異性の確認と、反復性過眠症の原因検索	清水 徹男	神経科精神科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
気分障害の時間生物学的治療とその作用機序に関する研究	越前屋 勝	神経科精神科	1,700,000	補委 文部科学省
睡眠医療における医療機関連携ガイドラインの有効性検証に関する研究(分担研究課題名)研究の総括 成果の公表	清水 徹男	神経科精神科	600,000	補委 国立精神・神経センター
睡眠医療における医療機関連携ガイドラインの有効性検証に関する研究(分担研究課題名)過眠症ガイドラインの有効性検証をMSLTとオレキシン、ヒスタミン値の相関の検証	神林 崇	神経科精神科	600,000	補委 国立精神・神経センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
収束超音波を用いた軟部肉腫の治療	永澤 博幸	整形外科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
機能的電気刺激 (FES) による脳卒中片麻痺下垂足歩行治療のための歩行周期検出用新型センサ技術の開発	島田 洋一	整形外科	931,889	補委 秋田県
誘導型遺伝子改変マウスによるケラチン病に対する蛋白フォールディング調節療法の創生	真鍋 求	皮膚科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腫瘍関連P13Kの選択的遮断を基盤とするメラノーマに対する分子標的治療法の創生	津田 昌明	皮膚科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
高脂肪食による前立腺癌の進展促進の分子メカニズムの解明	羽瀨 友則	泌尿器科	4,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
前立腺癌におけるインスリン様成長因子軸の臨床利用に向けた基礎的研究	土谷 順彦	泌尿器科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
膀胱癌に対する核酸医薬を用いたあたらしい治療法の開発	湯浅 健	泌尿器科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
膀胱がん好発モデルマウスを用いた治療標的分子の探索	羽瀨 友則	泌尿器科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ラット腎虚血/再灌流障害後の炎症性サイトカイン発現亢進の解明と薬剤効果	齋藤 満	泌尿器科	1,600,000	補委 文部科学省
膀胱癌におけるAKT-P13K pathwayの解析と制御にむけての研究	鶴田 大	泌尿器科	1,500,000	補委 文部科学省
毛様動脈血管平滑筋に対するプロスタグランジン製剤の効果についての薬理学的研究	吉富 健志	眼科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
瞳孔視野計の有用性に関する研究	吉富 健志	眼科	1,300,000	補委 熊本県
前庭有毛細胞のKCNQ4変異によって前庭平衡機能障害が本当に引き起こされないのか	近江 永豪	耳鼻咽喉科	500,000	補委 文部科学省
頭頸部癌扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討	石川 和夫	耳鼻咽喉科	273,000	補委 財団法人先端医療振興財団
虚血性脳傷害におけるRhoキナーゼ阻害薬の効果および他薬との併用効果	西川 俊昭	麻酔科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肺虚血再灌流障害における吸入麻酔薬の肺保護効果に関する研究	安部 恭子	麻酔科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
リンパ管造影CTを用いたセンチネルリンパ節同定法の口腔癌への応用と有用性の検討	福田 雅幸	歯科口腔外科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
エナメル芽細胞株と象牙芽細胞株を用いた上皮-間葉相互作用による歯の再生医療の開発	中田 憲	歯科口腔外科	2,200,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨芽細胞への分化促進シグナルとしてメカニカルストレスを用いた骨再生医療の開発	伊藤 悠	歯科口腔外科	1,800,000	補委 文部科学省
光造形技術による高精度実物大顎口腔モデルの開発と臨床応用	田中 清志	歯科口腔外科	2,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーション ションサテライト ト岩手
臨床応用に向けた細胞分化・増殖を誘発する新規生体埋入材料の開発	福田 雅幸	歯科口腔外科	2,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーション ションサテライト ト岩手
ユビキタス技術と加速度センサーによる患者・機器状態検知型医療安全システムの研究	近藤 克幸	医療情報部	4,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
医療・福祉分野の安全性向上を目指した電子タグ応用の包括的研究	近藤 克幸	医療情報部	8,500,000	補委 厚生労働省
秋田診療情報共有化システムの検証と今後のあり方に関する研究	近藤 克幸	医療情報部	2,792,160	補委 秋田県
音声主導型看護医療システムに関する研究開発 (082302005)	近藤 克幸	医療情報部	409,000	補委 総務省
喘息における肝細胞増殖因子の新薬およびバイオマーカーとしての可能性	伊藤 亘	中央検査部	1,600,000	補委 文部科学省
アレルギー性炎症におけるレチノイドの機能解析と治療応用への試み	植木 重治	中央検査部	1,500,000	補委 文部科学省
新規な心血管病治療標的としてのストア作動性Caチャンネルとその制御機構の解明	高橋 陽一郎	集中治療部	630,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
内皮幹細胞及び樹状突起細胞の動態からみた全身諸臓器血管活性化	南條 博	病理部	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肺癌の跳躍縦隔リンパ節転移の研究	今井 一博	腫瘍センター	1,700,000	補委 文部科学省
肝細胞特異的PTEN欠損マウスを用いた、肥満に対する遺伝子治療の試み	大嶋 重敏	医師キャリア形成支援センター	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
代償性心肥大から心不全への移行に関する新規メカニズムとしてのオートファジー関与	野堀 潔	医師キャリア形成支援センター	1,200,000	補委 文部科学省
がん治療に関する調査研究	病院長		17,706,367	補委 秋田県

計 15

合計 65

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood28 in press.	Aberrant overexpression of microRNAs activate AKT signaling via downregulation of tumor suppressors in NK-cell lymphoma/leukemia.	Yamanaka Y	第三内科
Clin Nephrol., 72 (1) 46-54. (2009)	Characteristics of proliferative glomerulonephritis with monoclonal IgG deposits associated with membranoproliferative features.	Masai R	第三内科
Clin Nephrol., 71 (6) 608-616. (2009)	GATA-3 is upregulated in peripheral blood mononuclear cells from patients with minimal change nephrotic syndrome.	Komatsuda A	第三内科
Hematol Oncol Clin North Am., 23(2)249-259.(2009)	Diagnosis and management of acquired pure red cell aplasia.	Sawada K	第三内科
Int J Hematol., 89 (4) 533-537. (2009)	Kidney-limited intravascular large B cell lymphoma: a distinct variant of IVLBCL?	Kameoka Y	第三内科
Clin Nephrol., 71 (1) 9-29. (2009)	Clinicopathological features and prognosis in immunoglobulin light and heavy chain deposition disease.	Masai R	第三内科
Am J Hematol., 84 (3) 144-148. (2009)	Acquired pure red cell aplasia associated with malignant lymphomas: a nationwide cohort study in Japan for the PRCA Collaborative Study Group.	Hirokawa M	第三内科
Blood., 8 (113) 396-402. (2009)	MicroRNA-17-92 down-regulates expression of distinct targets in different B-cell lymphoma subtypes.	Inomata M	第三内科

小計 8

Haematologica., 93:1555-1559. (2008)	Long-term responses and outcomes following immunosuppressive therapy in large granular lymphocyte leukemia-associated pure red cell aplasia: a Nationwide Cohort Study in Japan for the PRCA Collaborative Study Group.	Fujishima N	第三内科
Nephrol Dial Transplant., 23:3888-3894. (2008)	Monoclonal immunoglobulin deposition disease associated with membranous features.	Komatsuda A	第三内科
Br J Haematol., 142 (4) 505-514. (2008)	Acquired pure red cell aplasia: updated review of treatment.	Sawada K	第三内科
Int J Hematol., 88:64-72. (2008)	Phagocytosis of co-developing neutrophil progenitors by dendritic cells in a culture of human CD34 (+) cells with granulocyte colony-stimulating factor and tumor necrosis factor-alpha.	Saito Y	第三内科
Clin Exp Immunol., 152:482-487. (2008)	Up-regulated expression of Toll-like receptors mRNAs in peripheral blood mononuclear cells from patients with systemic lupus erythematosus.	Komatsuda A	第三内科
Am J Nephrol., 28:539-547. (2008)	Gene expression profiling of peripheral blood mononuclear cells from patients with minimal change nephrotic syndrome by cDNA microarrays.	Komatsuda A	第三内科
Expert Opin Med Diagn 2 (2) 161-169	Diagnostic biomarkers of diabetic nephropathy	藤田浩樹	老年科
Horm Metab Res 40 (4) 292-295	Low dose of losartan decreased urinary excretions of IgG, Transferring, and ceruloplasmin without reducing albuminuria in normoalbuminuric type 2 diabetic patients	成田琢磨	老年科

小計 8

秋田大学医学部保健 学科紀要 16 (2) 40-46	新しいインスリン指示書導入によるインシデント低減の効果～インシデントレポートの分析から～	成田琢磨	老年科
日消外会誌 41:1588-1593	正中弓状靭帯による腹腔鏡動脈起始部狭窄を伴う十二指腸乳頭部癌に対し膵頭十二指腸切除術を施行した1例	最上希一郎	第一外科
Minimally Invasive Therapy., 17:251-254	A newly designed magnet-retracting forceps for laparoscopic cholecystectomy in aswine model	Kume M	第一外科
World J Surg., 32:2425-2428	The use of magnetic anchors in the bowel lumen for laparoscopic anterior resection of rectosigmoid colon in pigs:with Video	Kume M	第一外科
Clin J Gastroentero l., 1 (4) :164-167 (2008)	Epstein-Barr virus-positive inflammatory psudotumor of the spleen managed with laparoscopic splenectomy	Ise N	第一外科
Cancer Sci,100: 558 -564 .2009	Inhibition of heat shock protein 90 sensitizes melanoma cells to thermosensitive ferromagnetic particle-mediated hyperthermia with low Curie temperature.	Ito A	第二外科
Ann Surg Oncol .2 009 Jun 3	CRP Genetic Polymorphism Is Associated with Lymph Node Metastasis in Thoracic Esophageal Squamous Cell Cancer	Motoyama S	第二外科
Ann Surg Oncol, 1 5: 3244-3251. 2008	REG1A expression is an independent factor predictive of poor prognosis in patients with breast cancer	Sasaki Y	第二外科

小計 8

Lung Cancer, 60: 98-104. 2009	REG1A expression is an independent factor predictive of poor prognosis in patients with non-small cell lung cancer	Minamiya Y	第二外科
Lung Cancer, 59: 41-47. 2008	VEGF121 promotes lymphangiogenesis in the sentinel lymph nodes of non-small cell lung carcinoma patients.	Kawai H	第二外科
World J Surg, 32: 246-254. 2008	Proton pump inhibitors relieve and prevent symptoms related to gastric acidity after esophagectomy	Okuyama M	第二外科
Surg Today, 38: 1083-1109. 2008	Accuracy of helical computed tomography for the identification of lymph node metastasis in resectable non-small cell lung cancer	Imai K	第二外科
Cancer Sci, 99: 805-809. 2008	Self-regulating hyperthermia induced using the rmosensitive ferromagnetic material with a low Curie temperature	Saito H	第二外科
Eur Surg Res, 41: 279-283. 2008	Preventive wrapping of the fragile tracheobronchial wall using a flap of latissimus dorsi muscle during esophagectomy after chemoradiotherapy	Sato Y	第二外科
Shock, 30: 81-86. 2008	Polymorphonuclear leukocytes are activated during atelectasis prior to lung re-expansion in rat	Minamiya Y	第二外科
Esophagus, 5: 215-218. 2008	Surgical and nonsurgical management of perforation complicating endoscopic submucosal dissection of esophageal cancer: report of three cases	Maruyama K	第二外科

小計 8

J Rural Med 3, 15-18	Subpectoral technique of pacemaker implantation-reduction of cost and length of hospital stay	Shimada Y Yamamoto F	心臟血管外科
Kyobu geka, 61 644-648	Management of mediastinitis and preventions perioperative nosocomial infection after cardiovascular surgery.	Aida H Yamamoto F	心臟血管外科
Circ J, 72 588-591	Postoperative Treatment With Carvedilol, a β -Adrenergic Blocker, Prevents Paroxysmal Atrial Fibrillation After Coronary Artery Bypass Grafting	Tsuboi J Izumoto H	心臟血管外科
秋田医学 34:pp. 223-236	Axonal viability of corticospinal tracts evaluated by diffusion tensor imaging relates to reversible motor function and crossed cerebellar diaschisis	川島文子	脳神経外科
Neuro Med chir., 48 (3) pp.137-139	Negative pressure pulmonary edema following foramen magnum decompression for chiari malformation type I - case report -	Hirano Y	脳神経外科
Pediatr. Int. 50(2):184-8	Increased numbers of macrophages in tracheal aspirates in premature infants with funisitis.	新井浩和	小児科
Pediatr. Cardiol. ;29(4):739-43	Correlation Between Right Ventricular Tei Index by Tissue Doppler Imaging and Pulsed Doppler Imaging in Fetuses.	段 玉清	小児科
Int. J. Hematol. ;88(5):498-507	Dynamics of human erythroblast enucleation.	蛇口美和	小児科

小計 8

Echocardiography; Volume 25, Number 3, pp. 270-277(8)	Noninvasive estimation of left ventricular end-diastolic pressure using tissue Doppler imaging combined with pulsed-wave Doppler echocardiography in patients with ventricular septal defects: a comparison with the plasma levels of the B-type natriuretic peptide.	小山田 遵	小児科
Pediatr. Cardiol. ; Volume 29, Number 1, 65-69	Paradoxical relationship between B-type natriuretic peptide and pulmonary vascular resistance in patients with ventricular septal defect and concomitant severe pulmonary hypertension.	豊野学朋	小児科
Echocardiography ; Volume 25, Number 10, pp. 1086-1093(8)	Preoperative and postoperative mitral valve prolapse and regurgitation in adult patients with secundum atrial septal defects.	豊野学朋	小児科
Akita J. Med. 巻:35 号:1 頁:59-68	Chlorpromazine Causes Cholesterol Storage in Culture Cells through Acid Sphingomyelinase Deficiency.	成田鮎子	小児科
Akita J Med, 35 113 -122	Preimplantation embryo development and its regulatory factors	Kawamura K	産科婦人科
Dev. Biol., 315, 189-2 02	Completion of Meiosis I of preovulatory oocytes and facilitation of preimplantation embryo development by glial cell line-derived neurotrophic factor [in Japanese]	Kawamura K	産科婦人科
Journal of Mammalia n Ova Research 25 (3) :184-192	Dynamics of Maternal Survivin mRNA in Mouse Oocytes and Pre-implantation Embryos	Sato T Fukuda J	産科婦人科
Akita. J. Med., 35, 155 -163	Promotion of mouse preimplantation embryo development by vascular endothelial growth factor	Sato K Kawamura K	産科婦人科

小計 8

J. Obstet. Gynecol. Neonatal hematol. 17 (1), 121-122	前置癒着胎盤症例に対する胎盤を剥離せず子宮摘出する方法について	三浦康子 佐藤宏和 三浦広志	産科婦人科
Neurosci. Res., 61, 136-142	Expression profiles of 10 circadian clock genes in human peripheral blood mononuclear cells	Kusanagi H	精神科
Akita J. med., 35, 201-205	Humoral lipid desialylating antibody IgG1	Masuda Y	精神科
Biomed. Res., 29, 233-238	Effect of a neuraminidase inhibitor (oseltamivir) on mouse jump-down behavior via stimulation of dopamine receptors	Suzuki M	精神科
Sleep., 32, 181-187	CSF histamine contents in narcolepsy, idiopathic hypersomnia and obstructive sleep apnea syndrome	Kanbayashi T	精神科
司法精神医学, 3, 53-55	医学生の司法精神医療に関する知識と意識についての調査	清水徹男	精神科
睡眠医療, 2, 157-164	視床下部病変によりオレキシン神経障害を来して生じ2次性の過眠症	神林崇	精神科
J Orthop Sci., 13 (1):72-77	scapular inclination and glenohumeral joint stability:	kikuchi K	整形外科

小計 8

J Orthop Sci., 13 (6) :510-513	Three-dimensional ultrasonography of shoulders with rator cuff tears	Kijima H	整形外科
J Orthop Sci., 13:348-353	Mechanical environment of the supraspinatus tendon:three-dimensional finite element modelanarYSIS	Seki N	整形外科
Akita J. Med., 35:185-199	scanning electronmicroscopic observation of matrix vesicle formation using cultured human osteoblastic sarcoma cells (SaOS-2 Cells), and effects of dexamethasone and human parathroid hormone on matrix vesicle formation	Tazawa H	整形外科
Bone., 42 (1) :90-97	Intermittent administration of human parathyroid hormone enhances bone formation and union at the site of cancellous bone osteotomy in normal and ovariectomized rats	Nozaka K	整形外科
Br. J. Clin. Pharmacol , 66, 207-214	Lack of tacrolimus circaden pharmacokinetics and CYP3A5 pharmacogenetics in the errly	Sato S	泌尿器科
J. Urology, 180, 2389-2395	Drug related genetic polymorphisms affecting adverse reactions to methotrexate, vinblastine, doxorubicin and cisplatin in patients with urothelial cancer	Tsuchiya N	泌尿器科
Oncology Rep., 20, 49-55	Clinical implications of the MDM2 SNP309 and p53 Arg72Pro polymorphisms in transitional cell carcinoma of the bladder	Horikawa Y	泌尿器科
Int. J. Cancer., 122	Prognostic significance of HIF-1 alpha polymorphisms in transitional cell carcinoma of the bladder	Nadaoka J	泌尿器科

小計 8

BMC Cancer, 8, 224	A genetic polymorphism of the osteoprotegerin gene is associated with an increased risk of advanced prostate cancer	Narita N	泌尿器科
Jpn. J. Endurol. ESWL, 21, 369-373	サイトカイン測定による泌尿器科腹腔鏡手術侵襲の検討	熊澤光明	泌尿器科
泌尿紀要 54, 581-585	MVAC療法後の転移性尿路上皮癌に対するGemcitabine、Docetaxel、Carboplatin併用化学療法の検討	井上高光	泌尿器科
Jpn. J. Endurol. ESWL, 21, 104-109	【腹腔鏡下膀胱摘除】秋田大学における腹腔鏡下根治的膀胱摘除術の経験	土谷順彦	泌尿器科
泌尿器外科 21, 301-303	【腹腔鏡手術の長期アウトカムの検証】腹腔鏡下根治的腎摘除術	土谷順彦	泌尿器科
Exp eye res, 87(3):251-6.	Relaxing effect of tafluprost on isolated rabbit ciliary	Dong Y Watabe H Su G Ishikawa H Sato N Yoshitomi T	眼科
新しい眼科(臨時増刊号) 緑内障Now, 25:125-128	「Q1 初期緑内障の点眼治療開始のタイミングとその処方は？」	石川誠	眼科
臨床眼科 62巻5号(2008.05) P. 707-710	小児および若年者ぶどう膜炎の統計的検討	早川宏一 神大介 佐藤徳子 吉富健志	眼科

小計 8

臨床眼科 62巻6号 (2008.06) P. 963-967	成人発症型卵黄様黄斑変性症と軟性ドローゼンノ鑑別に光干渉断層計が有用であった1例	澤田有 藤原聡之 吉富健志	眼科
Otolaryngol Head Neck S;138(5):619- 25.	How much influence does inspiration have on pulse transit time in sleep apnea?	殷敏	耳鼻咽喉科
Otol Jpn; 巻:18 号:2 頁:87-91	聴神経腫瘍の診断-ピットホールに陥らないために-	石川和夫	耳鼻咽喉科
Jan J Radio 1, 27 (1) :31-36	Three-dimensional bone-free computed tomographic angiography of aneurysms	戸村則昭	放射線科
J Magn Reson Imaging, 27(6):1322 -6	Tumor-liver contrast and subjective tumor conspicuity of respiratory-triggered	戸村則昭	放射線科
<i>J Allergy Clin Immunol</i> (in press)	Phosphatidylinositide 3-kinase deficient Mice Fail to Develop Allergic Airway Hyperresponsiveness, Inflammation, and Remodeling.	竹田正秀、 伊藤亘、 荏原順一他	中央検査部
<i>Allergy</i> 64(8):1130- 5.	Thioredoxin reduces C-C chemokine-induced chemotaxis of human eosinophils.	小林則子、 伊藤亘、 荏原順一他	中央検査部
<i>J Chemother</i> . 21(1)):52-7.	Clinical Evaluation after a Notification Policy of Linezolid Use: A Case Series of 22 Patients.	伊藤亘、 竹田正秀、 荏原順一他	中央検査部

小計 8

<i>Allergy</i> , 64 (5):718-724	Soluble vascular cell adhesion molecule-1 (sVCAM-1) induces human eosinophil migration.	植木重治、木原純子、荻原順一他	中央検査部
<i>Allergology Int.</i> 58(1):103-10	Activation of Eosinophils by Lipopolysaccharide-Induced Monocyte-Derived Cytokines.	小林則子、萱場広之、荻原順一他	中央検査部
<i>J Immunol</i> 181(11):7689-98.	Retinoic acids are potent inhibitors of spontaneous eosinophil apoptosis.	植木重治、荻原順一他	中央検査部
<i>Allergy Asthma Proc</i> , 29(6):609-13.	EG2 expressed by eosinophils as a clinically useful indicator of asthma.	鎌田由美子、萱場広之、荻原順一他	中央検査部
<i>Int Arch Allergy Immunol.</i> 147(4):331-7	Hepatocyte Growth Factor Suppresses Production of Reactive Oxygen Species and Release of Eosinophil-Derived Neurotoxin from Human Eosinophils.	伊藤亘、竹田正秀、荻原順一他	中央検査部
<i>Intern Med</i> , 47(11) pp.1057-1060	Co-existence of <i>Mycobacterium tuberculosis</i> and <i>Mycobacterium intracellulare</i> in one sputum sample.	竹田正秀、伊藤亘、荻原順一他	中央検査部
<i>Int Arch Allergy Immunol.</i> 146 Suppl 1:11-5	The synthetic PPARgamma agonist troglitazone inhibits eotaxin-enhanced eosinophil adhesion to ICAM-1-coated plates.	平澤裕之、植木重治、荻原順一他	中央検査部
アレルギー 57(12) pp.1317-1324	細胞動態測定装置 (EZ-TAXIScan) による好酸球遊走能測定の基礎的検討.	加藤光里、植木重治、荻原順一他	中央検査部

小計 8

<i>Ther Drug Monit</i> 30, 46-51 (2008)	Influence of Lansoprazole and rabeprazole on mycophenolic acid pharmacokinetics one year after renal transplantation.	Miura M. Sato S.	薬剤部 泌尿器科
<i>Ther Drug Monit</i> 30, 52-59 (2008)	Limited sampling strategy for simultaneous estimation of the area under the concentration-time curve of tacrolimus and mycophenolic acid in adult renal transplant recipients.	Miura M. Sato S.	薬剤部 泌尿器科
<i>Eur J Clin Pharmacol</i> 64, 503-509 (2008)	Estimation of the area under the concentration-time curve of racemic lansoprazole by using limited plasma concentration of lansoprazole enantiomers.	Miura M.	薬剤部
<i>Br J Clin Pharmacol</i> 65, 693-700 (2008)	The different effects of itraconazole on the pharmacokinetics of fexofenadine enantiomers.	Miura M.	薬剤部
<i>J Clin Pharm Ther</i> 33, 193-201 (2008)	No pharmacokinetic interactions between mycophenolic acid and tacrolimus in renal transplant recipients.	Miura M. Sato S.	薬剤部 泌尿器科
<i>Steroids</i> 73, 1052-1059 (2008)	Influence of CYP3A5, ABCB1 and NR1H2 polymorphisms on prednisolone pharmacokinetics in renal transplant recipients.	Miura M. Sato S.	薬剤部 泌尿器科
<i>Br J Clin Pharmacol</i> 66, 207-214 (2008)	Lack of tacrolimus circadian pharmacokinetics and CYP3A5 pharmacogenetics in the early and maintenance stages in Japanese renal transplant recipients.	Miura M. Sato S.	薬剤部 泌尿器科
<i>Ther Drug Monit</i> 30, 559-564 (2008)	Influence of drug transporters and UGT polymorphisms on pharmacokinetics of phenolic glucuronide metabolite of mycophenolic acid in Japanese renal transplant recipients.	Miura M. Sato S.	薬剤部 泌尿器科

小計 8

Clin J gastroenterol .,1.4. 164-167	Epstein-barr virus-positive inflammatory pseudotumor of the spleen managed with laparoscopic	Ise N	病理部
International Journal of Urology 15(3) pp.257-258	Developing multiple lung nodules in a renal transplant recipient with tuberous sclerosis who had undergone bilateral nephrectomy due to renal cell carcinomas	Saito M	病理部
Liver International vol 28 (issue 7) : pp 1043-4	Reduction in the size of a hepatic haemangioma after chemotherapy	Hashimoto M	病理部
Annals of Surgical Oncology; Volume 15, Number 4, 1224-1231(8)	REG I α is a reliable marker of chemoradiosensitivity in squamous cell esophageal cancer patient	Hayashi K	病理部
Surg Today ;38(12): 1083-90	Accuracy of helical computed tomography for the identification of lymph node metastasis in resectable non-small cell lung cancer	Imai K	病理部
Gynecologic Oncology; 112(2):342-7	Endometrioid uterine cancer. Histopathological risk factors of local and distant recurrence	Fujimoto T	病理部
Neuropathology; Volume 28, Number 2, pp. 151-156(6)	Acute encephalopathy associated with ingestion of a mushroom, Pleurocybella porrigens (angel's wing), in a patient with chronic renal failure	Obara K	病理部
Int. J. Urol; Volume 15, Number 2, pp. 185-187(3)	A case of testicular angiomyolipoma	Saito M	病理部

小計 8

Ther Apher Dial 12: 329-332	A cause of pediatric fulminant hepatitis treated with plasma diafiltration	Nakae H	救急部
日本アフェレシス会 誌 27:192-199	肝不全治療におけるアルブミン結合性病因物質除去	中江士師明	救急部
血液フロンティア	赤芽救療	廣川誠	腫瘍センタ ー
Mebio 25 (2) 30-36	赤芽救療の治療	廣川誠	腫瘍センタ ー
Haematologica 93(10): 1555 - 1559	Long-term response and outcome following immunosuppressive therapy in thymoma-associated pure red cell aplasia:a nationwide cohort study in Japan for the PRCA Collaborative Study Group	廣川誠	腫瘍センタ ー
Haematologica 93(11):1686-93.	Impact of ABO-blood type incompatibility on the outcome of unrelated bone marrow transplantation through the Japan Donor Program	廣川誠	腫瘍センタ ー
秋田県医師会雑誌 58(2) pp.91-97	2006年秋田県地域がん登録集計報告	廣川誠	腫瘍センタ ー
手術62 (4) 423-429	乳がんにおけるセンチネルリンパ節同定法—RIと磁性流体励磁法を中心に—	丸山起誉幸	腫瘍センタ ー

小計 8

合計 112

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 溝井和夫		
管理担当者氏名	総務課長 川村金蔵	医事課長 笹村和雄	薬剤部長 三浦 昌朋

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 (病歴室)	1患者1カルテ方式によりカルテを作成し、入院・外来ともに原則として20年間保存管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	/	
確規保則の第9条の2、3及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医事課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医事課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医事課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部 総務課 看護部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター（調達課）
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター（調達課）
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター（調達課）
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター（調達課）		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 溝井和夫
閲覧担当者氏名	総務課長 川村金蔵
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.0%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		8,269人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,204人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		812人
	D：初診の患者の数		14,533人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (16) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事要旨の作成並びに保存その他委員会の庶務に関する事。(2) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行う事。(3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う事。(4) インシデントの原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行う事。(5) インシデント報告の調査・分析及び改善策の立案に関する事。(6) インシデント報告の判定に関する事。(7) 医療安全管理委員会で策定された改善策の実施状況調査に関する事。(8) 医療の安全管理に関する指導方法に関する事。(9) 医療の安全管理のための職員研修の実施に関する事。(10) 医療安全に関するマニュアル及び各種マニュアルの作成・改訂作業に関する事。(11) 医療の安全に係る連絡調整に関する事。(12) 患者等から本院の医療に係る安全管理のための指針の閲覧の申し出があった場合、当該指針の 閲覧に供すること。(13) その他医療安全対策の推進に関する事。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 安全管理に関する基本的な考え方(2) 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項(3) 安全管理のための職員研修に関する基本方針(4) 医療の安全確保を目的とした改善の方策に関する基本方針(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針(6) 患者さんとの情報の共有に関する基本方針(7) 患者さんからの相談対応に関する基本指針(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 3 回

・ 活動の主な内容：

- (1) 医療に係る安全管理のための指針に関すること。
- (2) 医療に係る安全管理の体制に関すること。
- (3) 医療安全に関するマニュアルに関すること。
- (4) 医療の安全管理のための職員研修に関すること。
- (5) インシデントに関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること。
- (6) 医療事故の判定及び認定に関すること。
- (7) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること。
- (8) 医療事故及び医事紛争の対応策に関すること。
- (9) その他医療の安全管理に関し必要なこと。

⑦. 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 9回

・ 研修の主な内容：

- 医療安全管理研修会（平成20年5月21日、5月28日、6月19日開催）
『各科の諸検査、手術時の心臓リスク評価とリスク回避のための基本的ポイントとは？』
- 医療安全管理研修会（平成20年7月29日開催）
「処方間違いの実例と考察 ～疑義照会から～」
「インスリン療法を安全に行うための基礎知識、リスクマネジメント」
「クリニカルパス委員会からのメッセージ」
- 医療安全管理研修会（平成20年9月26日開催）
「接遇力アップトレーニング」
—よりよい患者サービスのために—
- 医療安全管理研修会（平成20年10月29日、11月12日、12月4日開催）
「CVC管理について」
「CVC関連血流感染防止のためのカテーテル管理について」
- 医療安全管理研修会（平成20年12月4日、平成21年1月13日開催）
「暴力・ハードクレームへの対応」
- 医療安全管理研修会（平成21年1月21日、2月3日開催）
「医療機器に関する研修」
①輸液・シリンジポンプの基本的使用方法
「医療安全管理に関する成果発表」
②5階東病棟のインシデント対策について
③職場における安全文化の醸成をめざして
- 医療安全管理研修会（平成21年2月27日、3月10日開催）
「医療安全管理に関する成果発表」
①生殖医療に特有なインシデント
②内服薬インシデント減少めざしての取り組み
③透析室の最近の取り組み
④医薬品業務手順書について/薬剤師による持参薬管理
- 医療安全管理研修会（平成21年3月2日、3月25日開催）
「抗がん剤による職業曝露について」
1. 「薬剤調整編」
2. 「看護業務編」
- 医療安全管理研修会（平成21年3月13日、3月23日開催）
「医療クレームへの対応策—法律家から見た」

⑧. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

インシデント発生部署から報告された事例の改善案を基に、医療安全管理部において改善策の立案を行う。

その後、医療安全管理委員会において、改善策の評価及び見直しについて審議決定する。

医療事故又は医療事故が疑われる事例に関しては、医療安全管理委員会において、改善策の策定、評価及び見直しについて審議決定する。

また、以下について策定し、職員に周知した。

(1) 医療安全管理 診療科等特化マニュアルの改訂

(2) 予防処置

- ・ 血液型不明の入院予定患者における血液型検査時期の統一
- ・ 「身体拘束に関するガイドライン」の作成
- ・ 「秋田大学医学部附属病院における輸血拒否患者への対応に関する指針」の改訂
- ・ メトホルミン（糖尿病薬）とヨード造影剤の併用使用チェック機能の追加

(3) 是正処置

- ・ 手術時の持参薬確認方法の統一
- ・ 散薬処方時に薬剤部から出力される「調剤記録」の変更と「散薬指示せん」の作成
- ・ 「手術時に必要な同意書確認票」の作成と確認方法の統一
- ・ 組織診検査・細胞診検査提出から結果説明までのルールの一貫性及びフローチャート作成
- ・ FFP融解方法の統一
- ・ 「採血管の種類について」一覧表の作成
- ・ 注射・検体採取・内服薬の指示伝達方法の統一

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策に関する基本的な考え方</p> <p>(2) 院内感染対策のための委員会、その他組織に関する基本事項</p> <p>(3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</p> <p>(4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>(5) 院内感染症発生(アウトブレイク)時の対応に関する基本方針</p> <p>(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</p> <p>(7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 感染の予防対策の実施及び指導に関すること。</p> <p>(2) 感染症発生時の処置に関すること。</p> <p>(3) その他感染制御に関すること。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成20年5月1日(木)開催 「癒して美しく健康な手へ・・・体験して覚えるハンドマッサージ」</p> <p>平成20年8月28日(木)開催 「手術部位感染の防止について」</p> <p>平成20年10月3日(金)開催 「手袋着用に起因する生体反応」</p> <p>平成20年10月29日(水)開催 ①「CVC管理について」 ②「CVC関連血流感染防止のためのカテーテル管理について」</p> <p>平成20年12月12日(木)開催 「信州大学医学部附属病院での感染制御室の活動を振り返って」</p> <p>平成21年1月26日(月)開催 ①「当院における感染管理活動～現状と今後の課題～」 ②「疥癬のアウトブレイクを経験して」</p> <p>平成21年3月2日(月), 3月25日(水)開催 「抗がん剤による職業曝露について」</p> <p>1. 「薬剤調整編」 2. 「看護業務編」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. サーベイランス
 - 1) 薬剤耐性菌
 - 2) 血液培養陽性例
 - 3) 中心静脈カテーテル関連血流感染 (血液内科・消化器神経内科・ICU)
 - 4) 人工呼吸器関連肺炎 (ICU)
 - 5) 手術部位感染 (泌尿器科・整形外科)
2. 抗菌薬訂正使用のための活動
 - 1) サーベイランスデータに基づいた院内ラウンド (毎週木曜日)
 - 2) メーリングリストによる院内ラウンド報告 (病院長・ICT・ICLS)
 - 3) 毎月の薬剤耐性菌サーベイランスレポート・抗菌薬使用状況・抗菌薬長期使用患者数報告等 (ICC・ICT会議・ICLS会議=奇数月)
 - 4) 一年間の抗菌薬使用状況・薬剤感受性の変化についての報告等 (ICC・ICT会議・ICLS会議=奇数月)
3. マニュアル整備
 - 1) 院内感染制御マニュアル
 - 2) 感染管理ベストプラクティス
4. コンサルテーション
 - 1) 感染経路別予防策のための患者配置
 - 2) 針刺し皮膚粘膜曝露時対応
 - 3) 抗菌薬の選択と使用方法 (医師)
 - 4) その他
5. 感染管理のための教育
 - 1) 研修会開催
 - 2) ICLS 向けプレゼンテーション
 - 3) 手指衛生強化のための個人指導
 - 4) 外注業者対象
6. 環境整備 (ゾーニング等)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新人（医師，看護師，薬剤師）に対するの薬剤業務全般についての研修（2回） 全職員を対象とした医薬品安全管理の研修（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理研修会 処方間違いの実例と考察（平成20年7月29日） ・ 医薬品業務手順書について（平成21年2月27日） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ ①・無 ）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>【手順書の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の採用 医薬品の購入 調剤室における医薬品管理 麻薬室における医薬品管理 薬品供給室における医薬品管理 製剤室における薬品管理 薬剤部以外（病棟等）における医薬品管理 外来患者への医薬品使用 入院患者への医薬品使用 医薬品情報の収集・管理・提供 他施設との連携 事故発生時の対応 教育・研修 <p>業務が医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に基づき行われているか定期的に確認し、その確認内容を記録している。（年1回）</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ①・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>薬剤部員に対しては部門LANシステムで情報の周知および回覧により、全職員に対しては「薬品情報」を配布することにより周知を行っている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年39回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工心肺装置及び補助人工装置の安全使用に関する研修 ・ 人工呼吸器の安全管理に関する研修（医療安全管理部・臨床工学センター合同研修会） ・ 閉鎖式保育器の安全使用に関する研修 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置の安全使用に関する研修 ・ 診療用粒子線照射装置の安全使用に関する研修 ・ 新しい医療機器導入時の研修 ・ 血液浄化装置の安全使用に関する研修 ・ 除細動装置の安全使用に関する研修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 （○・無） <ul style="list-style-type: none"> 機種別に作成した点検表を使用し日常点検を行い点検の状況の記録を保管している。 機種別に作成した定期点検計画書を使用し定期点検を行い、点検の状況の記録を保管している。 外部委託により保守点検を行う場合も、点検の実施状況等の記録を保管し、管理状況を把握している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （○・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を当該医療機器に携わるものに対して適切に提供している。 管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努めると共に、病院の管理者への報告を行っている。 	